

省力で大量処理が可能なサルトリイバラ簡易落葉法

園芸試験場 花き研究室

1. 背景

サルトリイバラは、実付き枝物として秋冬期は葉を除去した状態で出荷され、生け花等に利用される。しかし、手で葉を除去する場合の所要時間は1本あたり10分以上と非常に手間がかかる点が問題であった。そこで、省力で大量処理が可能な簡易落葉法を開発した。



サルトリイバラ

2. 簡易落葉法の落葉効果

2日常温乾燥と2日浸漬で全葉の9割が落葉（収穫6日後）

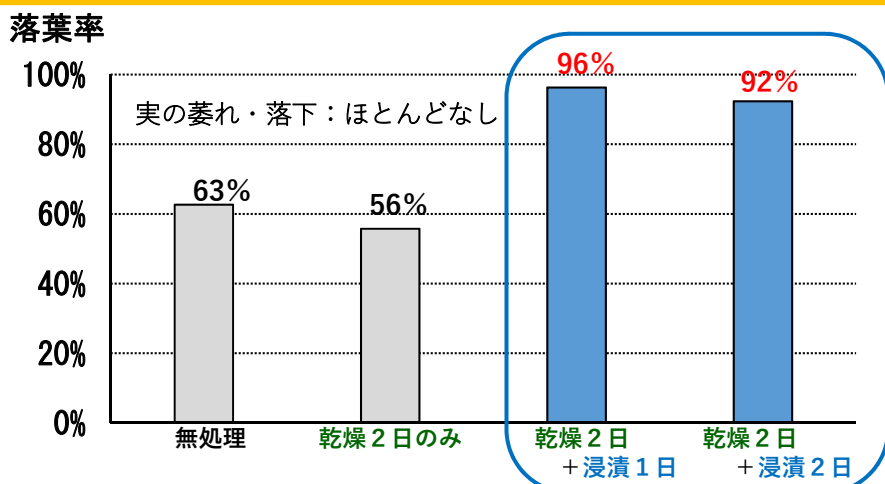


図 簡易落葉法による落葉の効果（収穫6日後）

実施日：10月5日～11月16日

3. 簡易落葉法処理手順

1. 乾燥



収穫後に常温乾燥（2日間）
ブルーシート等で被覆する

2. 浸漬



浸漬※（1～2日間）
※美咲ファームBC
（OATアグリオ(株)）500倍液

3. 葉取



引き揚げる。
（手で軽く引っ張る程度で
葉が簡単に取れる）

4. 留意点

- 3日以上浸漬は果実色素の溶脱が顕著になるので避ける。
- 未熟期（緑実）から過熟期（紅実）の収穫枝において利用可能である。
- 晩秋（11月下旬以降）は無処理でも簡単に葉が取れるので簡易落葉処理の必要はない。